

## 第19回私立短期大学入試広報担当者研修会 第2分科会 研修報告書

東京家政大学短期大学部 守屋 眞二  
大阪城南女子短期大学 山田 純

メインテーマ：入試改革と高大連携について

### 【Ⅰ 分科会の目標設定】

研修会全体の目標や内容を共有しながら、参加者が能動的に参加、入試改革と高大連携について多くの気付きができる分科会運営を行う。さらに、研修会内容を自学に持ち帰り、実際の業務に活かせる内容とする。また、研修会の成果が明確になるように努める。

### 【Ⅱ 分科会研修Ⅰでの実施内容(スケジュール)】

9月5日実施

- ① 14:45～15:00 【分科会運営について、講演振りかえり等】
- ② 15:00～15:10 グループ内自己紹介
- ③ 15:10～15:25 グループ内「入試改革と高大連携」での悩み共有
- ④ 15:25～15:35 入試制度改革へのアンケート結果配付と配付資料説明
- ⑤ 15:35～15:55 グループごとが考える「入試改革と高大連携」の課題と知りたい情報
- 15:55～16:05 休憩
- ⑥ 16:05～16:20 ⑤を分科会内で発表
- ⑦ 16:20～16:30 他グループの発表を受けての気付きのグループ内共有
- ⑧ 16:30～16:40 再グループわけ
- ⑨ 16:40～16:50 新グループ内自己紹介
- ⑩ 16:50～17:00 新グループにおける優先3テーマ決定のためのテーマ出しと、分類
- ⑪ 17:00～17:05 新グループの優先3テーマ決定
- ⑫ 17:05～17:15 1日目振り返りと注意事項等確認



9月6日実施

- ⑬ 10:45～10:50 講演振りかえりと分科会の確認
- ⑭ 10:50～11:10 新グループで優先3テーマについて議論
- ⑮ 11:10～11:20 新グループで優先3テーマもしくは新たに出てきたテーマの議論
- ⑯ 11:20～11:30 新グループ内議論の整理
- ⑰ 11:30～11:45 新グループでの議論の発表 分科会内共有
- ⑱ 11:45～12:05 分科会全体での気づきの共有
- ⑲ 12:05～12:15 分科会研修Ⅰまとめ



### 【分科会研修Ⅱでの実施内容(スケジュール)】

9月6日実施

- ① 13:00～13:10 【分科会運営について、分科会研修Ⅰでの議論整理】

- ② 13：10～13：20 グループ内自己紹介
- ③ 13：20～13：35 グループ内「入試改革と高大連携」での悩み共有
- ④ 13：35～13：45 オプション参加者入試制度改革へのアンケート結果配付と説明
- ⑤ 13：45～14：00 グループにおける優先3テーマ決定のためのテーマ出しと、分類
- ⑥ 14：00～14：05 グループの優先3テーマ決定
- ⑦ 14：05～14：25 グループで優先3テーマについて
- ⑧ 14：25～14：35 グループで優先3テーマもしくは新たに出てきたテーマの議論
- ⑨ 14：35～14：40 グループ内議論の整理
- ⑩ 14：40～14：50 グループでの議論の発表 分科会内共有
- ⑪ 14：50～15：00 分科会研修Ⅱまとめ

### 【Ⅲ 分科会の総括】

「入試改革と高大連携」をテーマとした分科会研修を行った。参加者によって情報量が大きく異なり、研修会で得たい成果や情報も全く異なる中での研修となった。入試改革や高大連携について、これまでの経緯の資料、各大学の公表している2021年度入試変更点の内容など幅広く資料提供を行った。さらに、告知ツールの事例として東京家政大学のガイドブック、オプション研修に参加した短期大学のみで実施した特長的なアンケート結果も配付。入試改革についてほぼ情報を持っていない参加者から、一定の情報を持っている参加者までに有益な情報提供を行えたと考えている。

さらに、4人程度のグループで入試改革や高大連携に関連した悩みの共有や優先すべきテーマを決定し議論を重ねた。また、分科会内全体でも各グループの議論を共有することで、結論は出ない内容でありながら一定の方向性を実感できたと確信している。参加者の成果シート内容を下記のとおり報告する。

### 【Ⅳ 参加者の成果シート（まとめ）】

・入試日程のフライングの考えた方など、びっくりした。 ・東京家政大学の入試改革ガイドブックは新入試のことをわかりやすく説明していて素晴らしいと感じた。とても参考になった。 ・入試対策について、今後の対応を伺え、勉強になった。 ・入試改革について、学力の3要素の評価などを具体化させていく。 ・入試改革についてのスタンスや考え方が参考になった。 ・入試の実施時期や内容について参考になった。 ・ポートフォリオについてあまり知らなかったので参考になった。 ・入試改革は文科省の通達に沿うために行うのではなく、自学のアドミッションポリシーにあった入試制度改革のために行う。 ミスマッチを防ぎ、短大が良い方向に向くような入試改革になれば良いと考える。 ・他で得られないリアルな内容であった。